≪資料 ①≫

# 【第 2 回小川町地域公共交通活性化協議会】

# 民生委員アンケート調査
# 地域説明会及びアンケート調査
# 結果概要

目　次

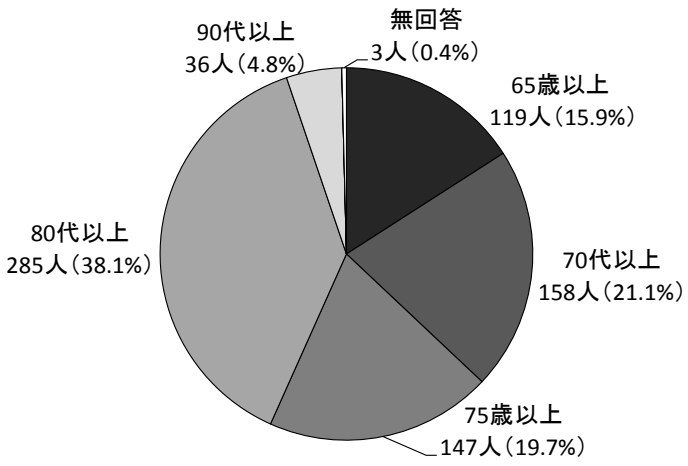
１．民生委員アンケート調査……1
２．地域説明会……3
３．地域説明会アンケート調査……6

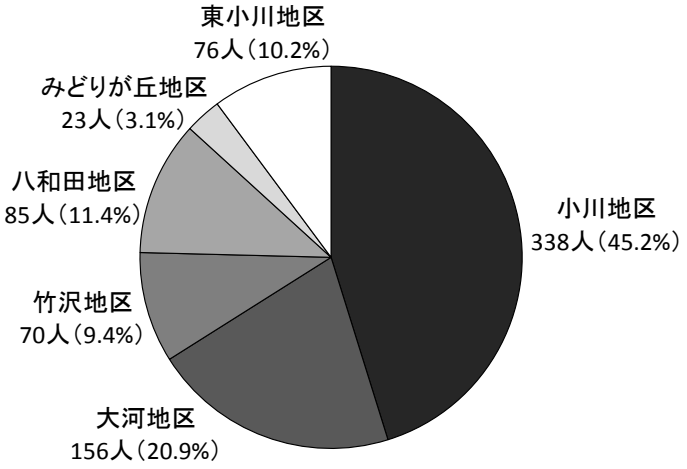
**平成 28 年 7 月 12 日**

# １．民生委員アンケート（平成 28 年 2 月）

## （１）調査概要

■　目　的　：特に不便を感じていると想定される町民の意向を把握するため
■　対　象　：65 歳以上一人暮らし世帯の高齢者（民生委員の訪問先世帯）
■　回答者数　：748 人




## （２）結果概要

**①現在最も困っている移動目的**

主に困っている移動目的は「買い物」「通院」だが、現状では「移動に困っていない」の回答が約半数を占めている。「竹沢地区」「みどりが丘地区」は移動に困っている割合が比較的高く、みどりが丘地区は通院、竹沢地区は買い物の移動に困っている割合が多い。

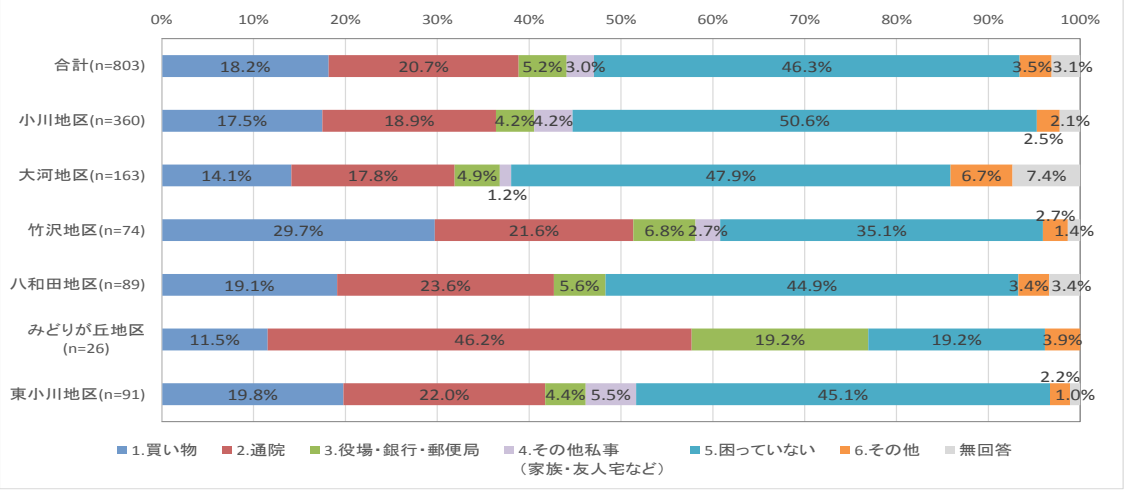
**②現在最も困っている移動場所**

最も移動に困っている移動場所は「小川駅周辺」であり、日赤病院周辺等を含めた「小川地区」への移動がほとんどを占めている。また、少数だが、地区内での移動に困っている状況も見られる。

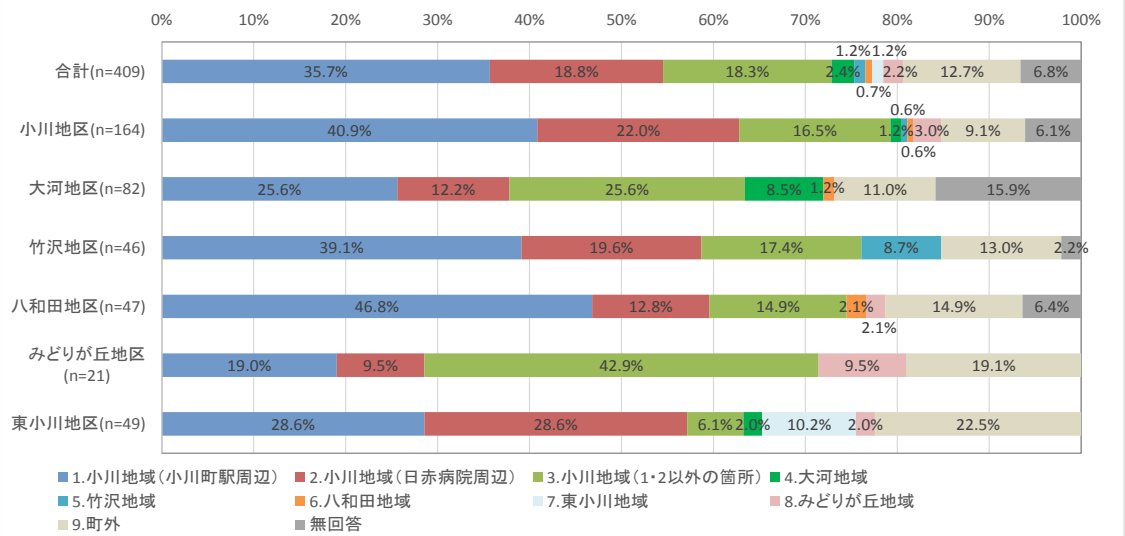
**③現移動手段を選ぶ決め手**

移動手段を選ぶ上では、安さや速さよりも、「自力で自由に移動できる手軽さ」「体力的負担の少なさ」が重要視されている。地区別に見ると、大河・竹沢・八和田地区においてその傾向が強くなっている。みどりが丘・東小川地区においては、他地区に比べて金銭的負担の少なさ・所要時間の短さを重要視する傾向が強い。

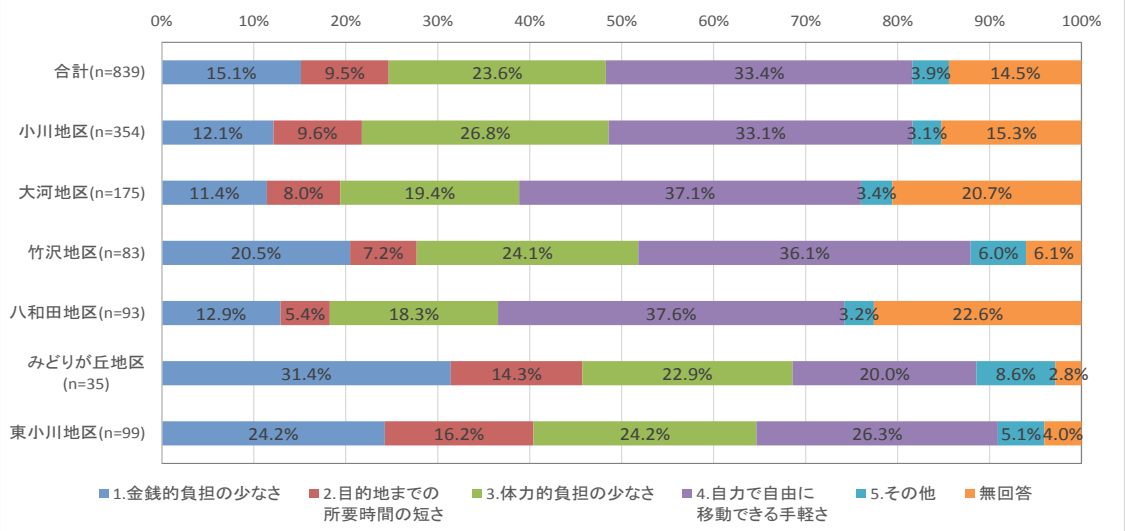
（移動に困っている目的：複数回答）




（困っている目的の場所（移動に困っている人のみの回答）：複数回答）




（現移動手段を選ぶ決め手：複数回答）



# ２．地域説明会（平成 28 年５・６月）

## （１）実施概要

■　目　的　：地域公共交通網形成計画の周知及び日常の移動に関する町民意向を把握するため

■　開催方法　：地域別に開催

■　対　象　：全町民

■　参加者数　：314 人

（開催日及び地域別参加者数）

| 開催日 | 対象行政区 | 参加者 |
|---|---|---|
| 5 月 20 日（金） | 角山中・角山上 | 5 人 |
| 5 月 21 日（土） | 腰中 | 23 人 |
| 5 月 23 日（月） | 古寺 | 23 人 |
| 5 月 24 日（火） | 下里一・下里二 | 10 人 |
| | 下里三・下里四 | 3 人 |
| 5 月 25 日（水） | 中爪グリーンヒル | 24 人 |
| 5 月 26 日（木） | 原川・笠原・靭負 | 38 人 |
| 5 月 27 日（金） | 青下二 | 9 人 |
| 5 月 30 日（月） | 腰上 | 23 人 |
| 5 月 31 日（火） | 青上 | 7 人 |
| 6 月 3 日（金） | 上横田一・上横田二・下横田・中爪・奈良梨・前高谷・中高谷・高谷南・西古里 | 14 人 |
| 6 月 7 日（火） | 東小川全地区 | 26 人 |
| 6 月 8 日（水） | 能増・高見・後伊 | 8 人 |
| 6 月 9 日（木） | 腰一・腰二・増尾 | 6 人 |
| 6 月 10 日（金） | みどりが丘全地区・県営小川みどりが丘団地 | 10 人 |
| 6 月 11 日（土） | 本一・本二・神明町・仲町・稲荷町・錦町・相生町・大関町・松若町・緑町・旭町・幸町・栄町・池田・ダイアパレス・ホーユウパレス・青下見田・青下畑ヶ中・青下田島 | 16 人 |
| 6 月 14 日（火） | 下小川一・下小川二・下小川三 | 1 人 |
| 6 月 15 日（水） | 春日町・大塚一・大塚二・大塚三・大塚四・コスモ小川町 | 19 人 |
| 6 月 16 日（木） | 木部・深田・勝呂下・勝呂上・木呂子 | 42 人 |
| 6 月 18 日（土） | 飯田 | 7 人 |
| 地区別小計 | 小川（駅周辺） | 45 人 |
| | 小川（角山） | 5 人 |
| | 小川（下里） | 13 人 |
| | 大河 | 89 人 |
| | 竹沢 | 80 人 |
| | 八和田 | 46 人 |
| | みどりが丘 | 10 人 |
| | 東小川 | 26 人 |
| 合　計 | | 314 人 |

## （２）主な意見

| ①新たな交通手段について |
| --- |
| ・デマンド交通があることにより免許の返納が進み、家族や本人の心配が減ると思う。<br>・本格運行は公共交通空白地域を対象とするのではなく、全町的に誰でも利用できるように導入して欲しい。<br>・既存のタクシー会社に委託するなど、初期費用や維持費用などがなるべくかからないやり方がベスト。<br>・持続可能な制度としての導入を望む。<br>・平成 30 年度の導入でなく、もっと前倒しで早く本格導入に移行して欲しい。<br>・デマンドはドア to ドアで、行きたい場所までダイレクトに行きたい。乗継の考え方は不便。<br>・最初はデマンドタクシーで実証を行うのも良いが、ゆくゆくは小型のワゴン・バスを走らせてほしい。<br>・コミュニティバスのようなもの（小型のワゴンでもいいから）で町の主要なスポット（役場・日赤・買物）を定期的に回れるようなものを導入して欲しい。<br>・週に何回か、日赤にみんなで乗り合って安く行きたい。<br>・本当に皆が行きたい場所というのは、病院や買物に絞られる。<br>・デマンドタクシーは、予約が面倒。携帯を持たない人でも予約ができるような端末が必要。<br>・料金が 500 円のデマンドは、日常の利用としては金額が高い。200 円、300 円がいい所。<br>・デマンドを導入する目的や位置づけを明確にし、真に困っている人を対象にするべき。財政を圧迫し、継続性が不透明になると思う。乗降ポイントもそういう場所にするべき。<br>・町内のみを対象にするのではなく、近隣と連携して広域的に他市町村へも行けるようにして欲しい。<br>・町の中でもデマンドタクシーが合う地域と、乗合のバスのようなものが合う地域とがあると思う。<br>・乗合の方が安く済むのであれば乗合がいい。乗合が嫌だという人は普通のタクシーを使えばよい。<br>・とにかく試験的に運行し、問題があったら改良していく方向で進めて頂きたい。<br>・実証運行は、バスとタクシーを併用してやってみて欲しい。 |
| ②路線バスについて |
| ・バス路線がないと生活に困るので、維持して欲しい。<br>・一部の便でも日赤に行けるようにルートを組んで欲しい。（東秩父路線、パークヒル路線、みどりが丘循環）<br>・武蔵嵐山駅までの延伸を希望する。（パークヒル路線） |

・みどりが丘循環は駅から団地までのルートなので、もう少し色々な所を周って欲しい。
・デマンドが全町的に導入されれば、その便利さ故にバスを利用する人は本当にいなくなる。デマンド利用地域や対象者を限定した方がいいのではないか。
・日中利用者の少ない時間は減便し、その分利用が多い朝や夕方夜の便をより充実できないか。
・一部でもいいので、日赤に行くバスと、その他の路線との駅での乗継時間を考えたダイヤを望む。
・バスの利益が上がるようなルートを町の方からも提案する必要があるのではないか

③その他

・今現在は車を運転できる。将来のことを思うと心配。
・車が一番便利なので、免許の返納に踏み切れない。
・高齢者関係の窓口が腰越のパトリアに移管され、大変不便で困っている。
・デマンド云々の施策よりも、市街化区域を増やして人口対策に力を費やした方がいい。
・歩道の整備をしてほしい。
・駅北口を開設してほしい。
・歩行者・車・バスが混在して危ないので、南口の整備を急ぐように。
・駅前に安く止められる駐車場を整備して欲しい。
・タクシー券の現状として、一部の限定的な人しか救えていない。
・東上線の小川町－池袋間の増発を要請してほしい。45 分くらいで行けるようにして欲しい。
・荷物が大変なので、ヤオコーから駅までカートを転がしていきたい。駅に小さいカート置き場を作って欲しい。
・今後も進展があれば、説明会を開いて欲しい。
・今まで路線バスが通っていなく、交通に対しては皆諦めていたが良い取り組みだと思う。
・町の財政面等の許容範囲や考えを示したうえで、意見交換をしてもらいたい。
・重複する事業は、無駄にならないよう見直しながら実施して欲しい。
・健康福祉課との連携を取ってください。
・町の財政補てん型では失敗すると思う。

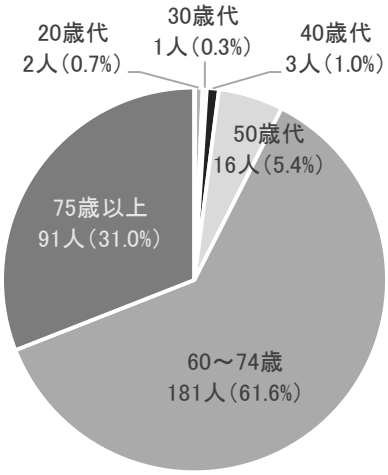
# ３．地域説明会アンケート（平成 28 年 5・6 月）

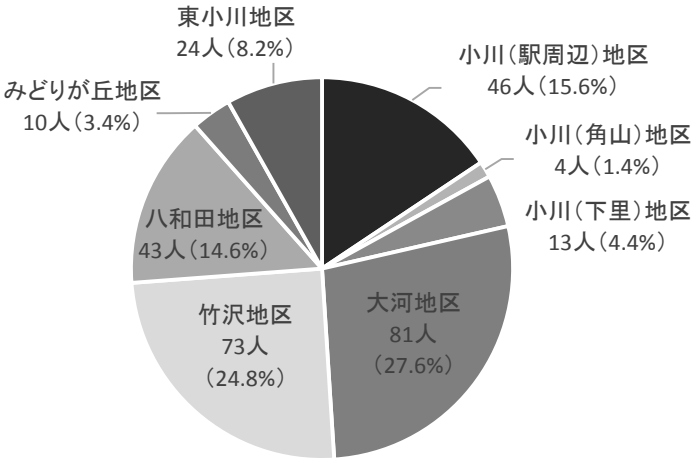
## （１）調査概要

■　目　的　：実証実験運行案の作成にあたり、デマンド交通にかかわる町民意向を把握するため

■　対　象　：地域説明会参加者

■　回答者数　：294 人




## （２）結果概要

**①移動手段の有無**

車・自転車・公共交通により自ら移動できると回答する割合がいずれの地区も多く、自ら移動する手段がない（送迎で移動する等）と回答する割合は 1 割前後となっている。

**②デマンド型交通の利用意向**

デマンド型交通が運行した場合「利用する」と回答した人が各地域で約 8 割以上を占めている。

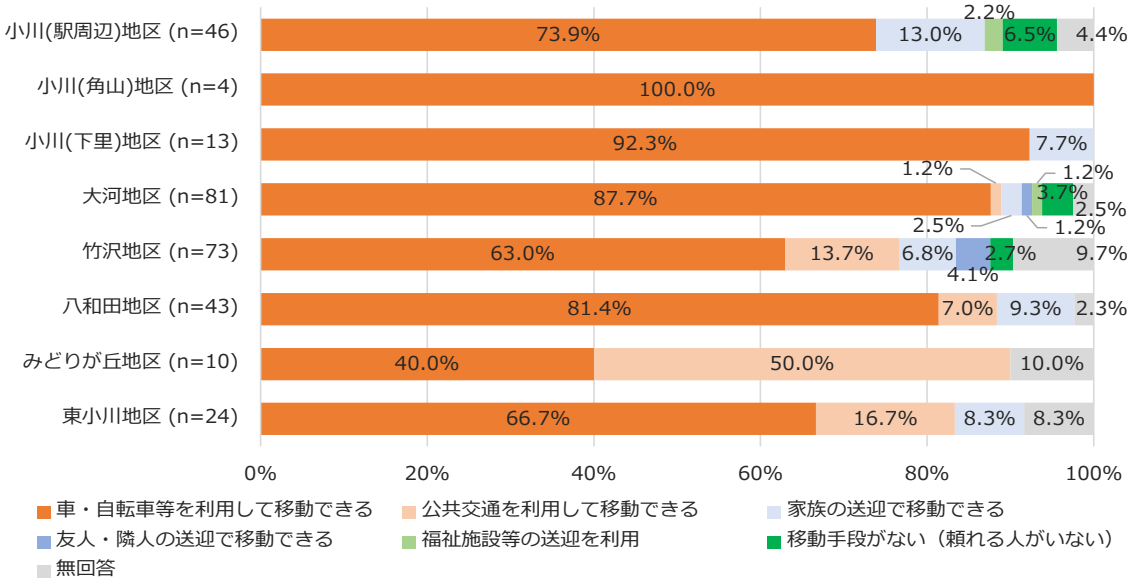
**③自宅～乗降場所間の距離の許容範囲**

デマンド型交通を運行させた際の「自宅から乗場までの距離」の許容範囲は、「ゴミ集積所や公民館等の自宅周辺」が半数を占めているものの、「自宅まえ」についても 4 割以上となっている。その他については「自宅から 100m」等の意見が挙がっている。

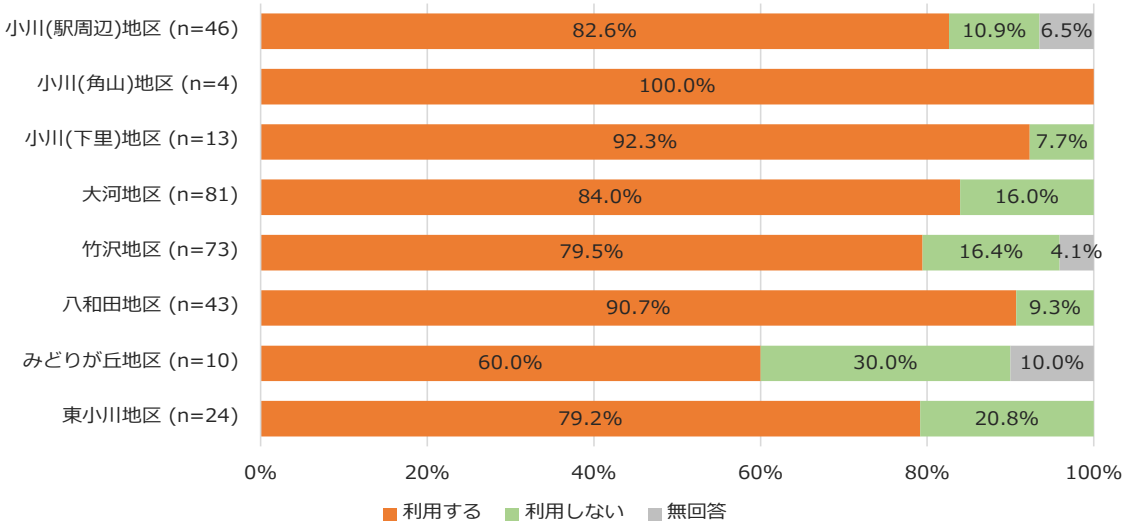
**④事前予約時間の許容範囲**

デマンド型交通を運行させた際の「事前予約時間」の許容範囲は、「当日の利用 1 時間前まで」と「前日まで」がほぼ同数で最も多く、次いで「当日の利用 3 時間前まで」となっている。その他については、直前予約等を求める意見が挙がっている。

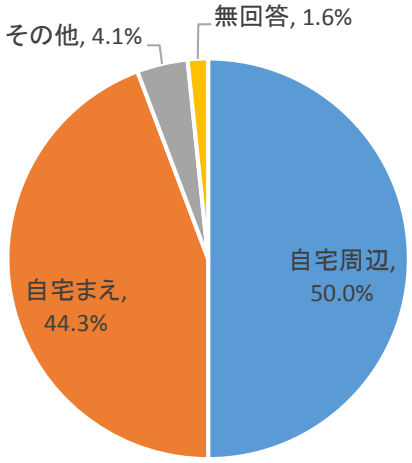
（移動手段の有無　n=294）



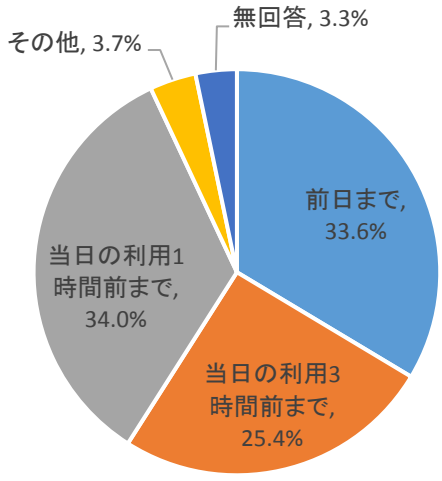

（デマンド型交通の利用意向　n=294）




（自宅～乗降場所間の距離の許容範囲　n=244）




（事前予約時間の許容範囲　n=244）




※デマンド型交通の利用意向が「利用する」の方のみ回答